

学 年	教科等	単元名	日 時
第3学年	社会科	店ではたらく人	令和5年7月19日(水)4校時
研究内容1 の手立て	【学習したことを自分たちの生活や社会と結び付けるための手立て】 本単元では、スーパーマーケットに行く人が多いという事実に対する問いをもたせ、工夫や魅力を知りたい理由等を記述させることで、自分たちの生活とのかかわりを意識しながら学習することができるようにする。 本時は、「生み出す」段階で子どもがもった「学んだことを人に伝えたい」等の思いに沿ってテーマを設定する。テーマを複数提示することで、学習したことを基に考えられそうだと思うものを子ども自身が選択・判断し、これまでに学んだスーパーマーケットの工夫や魅力とテーマを結び付けて表現することができるようにする。		
研究内容2 の手立て	【学び方を次の学習に生かすためのふりかえりの在り方】 本単元では、単元をとおして使用する学習プリントに、適宜学習方法や感想を記述させる。また、単元の終末に学級全体で学び方を見直すことで、様々な学び方によって理解が深まったことを実感することができるようにする。 本時は、「これまで学習したスーパーマーケットの工夫や魅力を生かしてテーマについて考えられた。」という発言に対して、工夫や魅力が分かった理由を問うことで、獲得した学び方を確認し、次の学習にも生かそうという思いをもつことができるようにする。		

《子どもの姿からの報告》

研1 「学習を生かすとはどういうことですか。」と問い、既習内容を基に考えればよいと気付かせることで、スーパーマーケットの工夫や魅力を根拠に記述することができるようにした。



これまで学習したことを基に考えられそうな
テーマを選択・判断し、根拠となる資料を探す姿

テーマ① 3つの店のなかで、どの店を誰にお薦めしますか。

テーマ② 3つの店のなかで、自分の家の近くにあったらいいと思う店はどれですか。

テーマ③ お客さんが少なくて悩んでいる店があったら、どのようなアドバイスをしますか。

研2 グループでつくる店の宣伝の内容を話し合わせることで、個人が考えた工夫や魅力を生かして表現するとともに、仲間と協働することで考えが広がることを実感することができるようにした。



〇〇先生は家の近くの店によく行っていたよ。家が多い所にお店をつくると、お客さんがたくさん来るのではないかな。

見学した店の工夫や消費者の
願いを基に、話し合う姿

Aの店はオリジナルブランドを作っていたよ。そういう商品は欲しくなるから、うちの店もオリジナルブランドを作ろう。

研2 子どもの疑問を基に学習計画を立てたり、子どもの思いに沿ってテーマを設定したりすることで、テーマについて考える際にこれまでの学習を生かすことができたという思いや、学習したことを生活に役立てたいという思いをもつことができるようにした。

学習したことを生かして、
テーマについて考えることが
できました。



今日考えた工夫を、自分が将来お店を開くときに、やってみたいなと思いました。

学習をふりかえったり、自分たちの
生活に生かそうとしたりする姿

《考察》

- 子どもは、ノートの記事やタブレット型端末に入っている資料を基に、これまで学習したスーパーマーケットの販売の工夫を想起し、消費者の願いと販売の工夫を結び付けながら、選んだテーマについて考えていた。導入の段階で「学習を生かす」ということを押さえたうえで、見通しをもたせる際に「学習を生かす」とは、「これまで学習したスーパーマーケットの工夫や魅力を使うということである」と学級全体で共有したことが有効であったと思われる。
- 社会科の学習においては、事実から理由や根拠をもって、社会へのかかわり方を選択・判断させることが大切である。そのため、本時は、グループで「自分たちのスーパーマーケットのおすすめポイント」を考える際に、どの工夫をおすすめポイントにするかということだけでなく、その工夫を選んだ理由を明確にする必要があった。
- ふりかえりでは、感想の記述に留まったが、「これまでの学習を生かすことができたか」、「今日の学習で学んだことは何か」という視点を与えて記述させる必要があった。そうすることで、より多くの子どもがこれまでの学習を生かしたことを実感し、今後の学習につなげようという思いをもつことができたのではないかと考える。

御意見・御質問はこちら（研究部アドレス）

miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

○ 本時の目標

学習したことを基に考えられそうだと思うテーマを選択・判断し、スーパーマーケットの工夫や魅力とテーマを結び付けて表現することができる。

○ 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり（★は評価にかかわるもの）
1 本時の学習について話し合う。 ○ 前時までの復習 ○ 本時のめあて これまでの学習を生かして、いろいろなテーマについて考えよう。	○ 前時までの学習を想起させることで、スーパーマーケットの工夫や魅力、獲得した学び方を確認することができるようにする。 ○ 「生み出す」段階で子どもがもった思いに沿ってテーマを設定したことを伝えることで、これまでの学習を生かそうという意欲をもつことができるようにする。
2 本時の学習について見通しをもつ。 ○ 個人で考えるテーマ ① 見学した3つの店のなかで、どの店を誰にお勧めしたいか。 ② 見学した3つの店のなかで、自分の家の近くにあったらいいと思う店はどれか。 ③ お客さんが少なくて悩んでいる店があったら、どのようなアドバイスをするか。 ○ グループで考えるテーマ 自分たちのスーパーマーケットをつくるなら、どのような宣伝をするか。	○ ①～③のテーマのなかから1つ選んで考え、仲間と伝え合い、その後グループで1つのテーマについて話し合うという活動内容を伝えることで、見通しをもって学習に臨むことができるようにする。 ○ 「学習を生かすとはどういうことですか。」と問い、既習内容を基に考えればよいということに気付かせることで、スーパーマーケットの工夫や魅力を根拠に考えようとすることができるようにする。
3 ①～③のテーマから自分が考えられそうだと思うものを選択・判断し、テーマについて考える。 ○ テーマの選択 ○ これまでの学習を根拠にした考え - 家の人に○○をおすすめしたい。なぜなら…。 ○○すれば、お客さんがたくさん来るとアドバイスしたいな。なぜなら…。	★ ①～③の3つのテーマを提示することで、学習したことを基に考えられそうだと思うものを子ども自身が選択・判断することができるようにする。 ★ テーマについて考える際に、必ず理由を記述させることで、スーパーマーケットの工夫や魅力をテーマと結び付けて考えることができるようにする。
4 グループのテーマについて話し合う。 ○ 自分たちのスーパーマーケットの宣伝 うちのスーパーマーケットのおすすめポイントは、○○です。	○ グループで宣伝の内容を話し合わせることで、「3」で個人が考えた工夫や魅力を生かして表現するとともに、仲間と協働することで考えが広がることを実感することができるようにする。
5 本時の学習をふりかえる。 ○ 感想の交流 - これまでの学習を生かしてテーマについて考えることができたよ。 - 友だちの考えを聞いて、いいアイデアだなと思うものがあったよ。	○ スーパーマーケットの工夫や魅力を根拠に表現できたという発言に対して、「工夫や魅力が分かったのはなぜですか。」と問うことで、獲得した学び方を確認し、次の学習にも生かそうという思いをもつことができるようにする。

○ 本時の評価規準

学習したことを基に考えられそうだと思うテーマを選択・判断し、「この店は○○という工夫をしているから、家の人にお勧めしたい」、「お客さんがたくさん来るようにするためには、あの店のように○○をすればよいとアドバイスしたい」等、スーパーマーケットの工夫や魅力とテーマを結び付けて表現している。

(思考・判断・表現②)【記述分析】